

本書の使い方 008

Chapter 1 NX Studioの基本を知る

01 NX Studioでできること 012

02 画像の形式 016

03 画像の取り込み 018

04 NX Studioの各部名称 020

05 メニューバーの項目 022

06 ツールバーの項目 027

07 ブラウザーパレットの項目 028

08 ビューエリアの項目 030

09 下部ツールバーの項目 036

10 画像の絞り込み 038

11 写真の選別方法 040

12 印刷 042

Column: メリットはカメラの色の情報を引き継げることと
レンズの自動歪み補正が使用できること 044

Chapter 2 NX Studioで画像を調整する

01 調整パレットの基礎知識 046

02 調整パレットの構成 048

03 基本的な調整 ピクチャーコントロール 056

04 基本的な調整>ピクチャーコントロール クイックシャープ 058

05 基本的な調整>ピクチャーコントロール 輪郭強調 059

06 基本的な調整>ピクチャーコントロール ミドルレンジシャープ 060

07 基本的な調整>ピクチャーコントロール 明瞭度 061

08 基本的な調整>ピクチャーコントロール コントラスト 062

09 基本的な調整>ピクチャーコントロール 明るさ 063

10 基本的な調整>ピクチャーコントロール 色の濃さ(彩度) 064

11 基本的な調整>ピクチャーコントロール 色合い(色相) 065

12 基本的な調整>ピクチャーコントロール Creative Picture Control 066

13 基本的な調整>ピクチャーコントロール Creative Picture Control:適用度 068

14 基本的な調整>ピクチャーコントロール モノクロ画像:フィルター効果 069

15 基本的な調整>ピクチャーコントロール モノクロ画像:調色 070

16 基本的な調整 ホワイトバランス 072

17 基本的な調整>ホワイトバランス グレーポイントサンプルツール 073

18 基本的な調整>ホワイトバランス 色温度 074

19 基本的な調整>ホワイトバランス 色味 075

20 基本的な調整 露出補正 076

21 基本的な調整 アクティブD-ライティング 077

22 基本的な調整>明るさと色の調整 明るさ 078

23 基本的な調整>明るさと色の調整 コントラスト 079

24 基本的な調整>明るさと色の調整 色の濃さ(彩度) 080

25 基本的な調整>明るさと色の調整 ハイライト 081

26 基本的な調整>明るさと色の調整 シャドウ 082

27 基本的な調整>明るさと色の調整 D-ライティングHS 083

28 レベルとトーンカーブ レベルとトーンカーブ 084

29 レベルとトーンカーブ レベル 088

30 レベルとトーンカーブ トーンカーブ 089

31 レベルとトーンカーブ ガンマ 090

32 レベルとトーンカーブ ブラックポイント 091

33 レベルとトーンカーブ ニュートラルポイント 092

34 レベルとトーンカーブ ホワイトポイント 093

35 レベルとトーンカーブ アンカーポイントの追加 094

36 レベルとトーンカーブ 自動コントラスト/リセット 095

37 レベルとトーンカーブ ホワイトポイント出力スライダー 096

38 レベルとトーンカーブ ブラックポイント出力スライダー 097

39 明度・彩度・色相の補正>LCHエディター 彩度 098

40 明度・彩度・色相の補正>LCHエディター 色相 100

41 明度・彩度・色相の補正>LCHエディター カラー明度 102

42 明度・彩度・色相の補正>LCHエディター 明度(マスターモード) 104

43 明度・彩度・色相の補正>カラーブースター 人物 106

44 明度・彩度・色相の補正>カラーブースター 風景 107

45 ディテールの補正 ノイズリダクション 108

46 ディテールの補正 エッジノイズリダクション 110

47 ディテールの補正 アストロノイズリダクション 111

48	ディテールの補正>シャープ補正 アンシャープマスク	112
49	ディテールの補正>シャープ補正 アンシャープマスク:適用量	114
50	ディテールの補正>シャープ補正 アンシャープマスク:半径	115
51	ディテールの補正>シャープ補正 アンシャープマスク:しきい値	116
52	部分的な補正 自動レタッチブラシツール	117
53	部分的な補正 カラーコントロールポイントツール	118
54	部分的な補正>カラーコントロールポイント カラーピッカー	120
55	部分的な補正>カラーコントロールポイント サイズ	121
56	部分的な補正>カラーコントロールポイント BCS	122
57	部分的な補正>カラーコントロールポイント HSB	122
58	部分的な補正>カラーコントロールポイント RGB	123
59	部分的な補正>カラーコントロールポイント 暖色系調整	123
60	構図の補正 トリミングツール	124
61	構図の補正 傾き補正ツール	125
62	構図の補正 アオリ効果:垂直方向	126
63	構図の補正 アオリ効果:水平方向	127
64	カメラとレンズの補正>カメラ補正 色モアレリダクション	128
65	カメラとレンズの補正>カメラ補正 自動赤目補正	128
66	カメラとレンズの補正>カメラ補正 イメージダストオフ	129
67	カメラとレンズの補正>レンズ補正 倍率色収差補正	130
68	カメラとレンズの補正>レンズ補正 軸上色収差補正	131
69	カメラとレンズの補正>レンズ補正 自動ゆがみ補正	132
70	カメラとレンズの補正>レンズ補正 ヴィネットコントロール	133
71	カメラとレンズの補正>レンズ補正 回折補正	134
72	カメラとレンズの補正>レンズ補正 PFフレアコントロール	134
73	カメラとレンズの補正>レンズ補正 フィッシュアイ補正	135
	Column: 調整設定メニュー	136

Chapter 3 実践 画像を調整する

01	桜の色をイメージ通りに表現する	138
02	肌をきれいに表現する	139
03	金属の質感と重厚感を表現する	140
04	高層ビルを自然に表現する	141
05	朝のやわらかな雰囲気表現する	142
06	街スナップをハードなモノクロで表現する	143
07	室内を雰囲気よく表現する	144
08	夜景写真を近未来的に表現する	145
09	ノスタルジックな雰囲気表現する	146
10	さわやかな初夏のイメージ表現する	147
11	主役の色だけを強調して表現する	148
12	太陽の光を強調して表現する	150
13	逆光による黒つぶれ部分の階調表現する	152
	Column: どの項目から補正したらよいか迷ったときは	154

Chapter 4 NX Studioで動画を編集する

01	基本の操作	156
02	動画の切り取り・連結	157
03	Movie Editorの各部名称	158
04	Movie Editorのメニューバー	160
05	設定エリア	162
06	文字情報の挿入	164
07	BGMの設定	165
08	動画の編集	166
09	出力・生成	170

Chapter 5 知っておきたい、さらなるテクニック

01	ファイル変換して画像を書き出す	172
02	スライドショー	174
03	作品をシェアする NIKON IMAGE SPACE	176
04	環境設定	178
05	NX Studioのダウンロード	188

本書の使い方

NX Studioの概要

まずニコンの公式サイトダウンロードページからNX Studioをダウンロードしてください（→P.188）。

Chapter 1 NX Studioの基本を知る

NX Studioの概要をはじめ、画像の形式、画像の取り込み方を解説しています。また画面表示の各部名称や、メニューバー、ツールバー、ブラウザーパレット、

ビューエリア、下部ツールバーでできることなど、基本の操作などはこのChapterで確認できます。画像の絞り方や選別の方法などもこのChapterにあります。



写真のRAW現像作業

写真のRAW現像作業は、主に画面右側に表示される調整パレットで行います。自由にイメージした写真画像に仕上げるには、調整パレットの各項目の操作をマスターすることがポイントです。

Chapter 2 NX Studioで画像を調整する

調整パレットの構成から、すべての調整項目の操作方法を解説しています。なお、同じ名前の項目が複数のカテゴリで使われていることがあります。例えば、「明るさ」は、基本的な

調整→ピクチャーコントロール→明るさと、基本的な調整→明るさと色の調整→明るさに存在しています。これらは調整値が異なるため、それぞれ別項目で解説しています。



Chapter 3 実践 画像を調整する

ここではRAW現像の実践例を13個解説しています。実際の作業を行うときの現像をステップで確認できます。



動画の編集

NX Studioでは、ニコンのデジタルカメラで撮影した動画のみ編集できます。

Chapter 4

NX Studioで動画を編集する

動画編集用のソフトウェア Movie Editor の機能や、メニューバーでできること、文字の挿入やBGMの設定などを解説しています。



NX Studioを使いこなす

NX Studioをもっと使いこなすための機能を解説しています。

Chapter 5

知っておきたい、さらなるテクニック

ファイル変換して画像を書き出す方法や、作品のシェアの方法など、現像以外の使いこなしテクニックを解説しています。



NX Studioでできること

NX Studioは、静止画や動画を閲覧、現像、編集できるパソコン専用ソフトウェアです。この章では、まずNX Studioの概要や画像の取り込み方、各機能の名称など、操作をする際の基本を解説します。

RAW 現像に特化したNX Studio

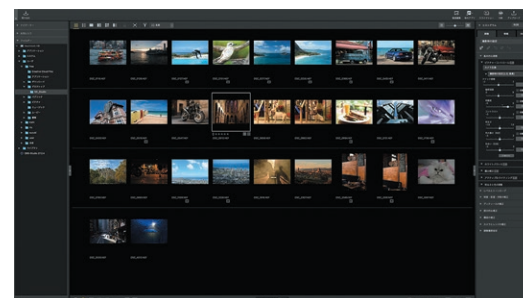
NX Studioは、ニコンが提供する多様な現像機能を有したパソコン専用の無料ソフトウェアです。特にRAW形式での現像を得意としており、初心者からプロまでレベルに合わせて作業ができることが強みです。また、一部機能は制限されるものの、JPEG形式での画像調整も可能です。さらには画像の整理、フィルタリング、ウェブサイトなどへの公開、プリント、アルバム作成など、画像に関することならこのソフトですべて完結できるといっても過言ではありません。ニコンのカメラを使用している方にとっては、互換性やソフト

アップデート面においても非常に心強い存在となるでしょう。しかし普段からこうした現像ソフトに慣れていない人にとっては、多彩すぎる機能に戸惑い、操作が難しく思えるかもしれません。また、「ある程度は使えるけれど、使いこなせているとは思えない……」、そんな方もいるかもしれません。本書ではそうした問題を解決すべく、NX Studioに備わるほぼすべての機能についての解説を掲載しました。ぜひNX Studioを使いこなして、写真や動画編集の世界を堪能してください。



表示（詳細はP.30へ）

NX Studioでは画像の管理・調整をするために、画面中央に大きなビューアーがあり、ここが主な作業場になります。取り込んだ写真を一覧で見ることができるサムネイル一覧表示は、任意の画像をスムーズに探すのに適しています。調整の際には、イメージビューアー表示で1枚の画像を大き



画像を一覧表示するサムネイル表示。

く表示すれば、細やかな補正まで思い通りに確認することができます。また、調整の前後でどこが変化したかを比較できる調整結果比較画面などもあります。作業環境によってベストな画面表示を選択できるのは、NX Studioの特徴の1つといえるでしょう。

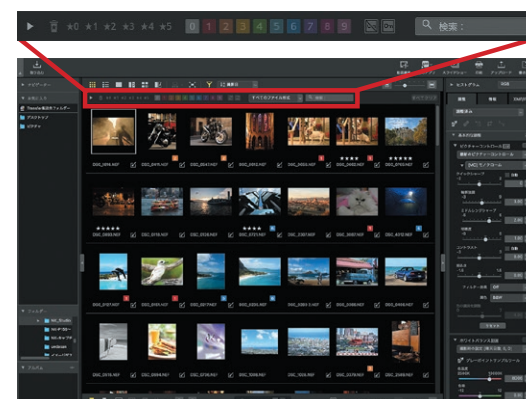


1枚の画像を大きく表示するイメージビューアー表示。

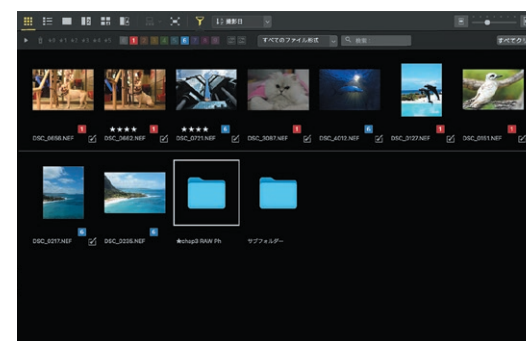
絞り込み（詳細はP.38へ）

撮影によっては、何百、何千といった枚数の写真を撮影することがあるかもしれません。ピントの違いやモデルの表情、光の当たり具合など、細かな部分までこだわると自然と枚数は増えていくものの、そうした画像をグループごとに分けたり、優先順位を付けたりして整頓することができるのが、絞り込み機能です。星の数で重要度を設定したり、ラベルを付けてお気に入りの1枚を見失わ

ないようにしたりするなど、この機能を使いこなせば作業はぐんと効率化するでしょう。本書ではプロが実際に活用している絞り込み方法の一例を紹介していますので、ぜひそちらも参考にしてみてください。また、誤って大切な画像を消してしまうことがないように、プロテクト機能も搭載されています。



絞り込み機能ですぐに目当ての画像を探し出せる。



ラベル16で絞り込んだ画像。

NX Studioの各部名称

NX Studioを扱ううえで、基本となる作業画面について解説します。画面表示を正しく把握し、作業の効率化に役立ててください。

4 ビューエリア

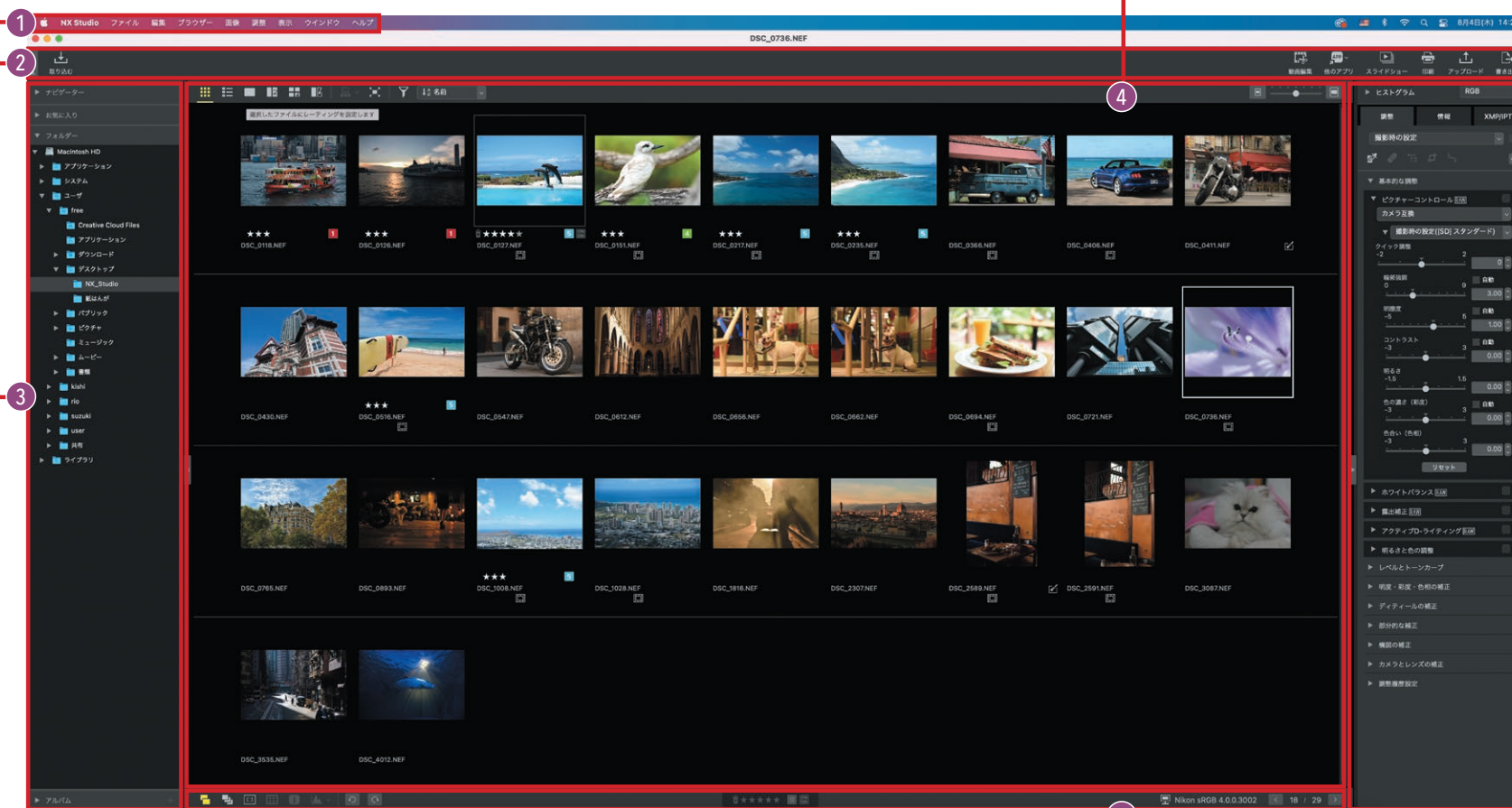
NX Studioでの作業の中心となる部分で、画像を表示するエリアです。サムネール一覧表示や2画面比較表示などといった表示方法の切り替えや、画像をカテゴリごとに分類して整頓するレーティングを行うことができます(→P.30)。

1 メニューバー

各種メニューを選択できます。パソコンによって表示項目は一部異なりますが、基本的には画面の上部にあります。画像の取り込みや印刷などを行うファイル、画像の調整を1つ前の状態に戻すなどができる編集、作業画面に何を表示するかを任意に選択するウィンドウなどがあります(→P.22)。

2 ツールバー

画像の取り込み、動画編集モードへの移行、印刷などを実行できます。また、Nikon Transfer 2などのほかのアプリの起動もここで行うことができます(→P.27)。



3 ブラウザーパレット

画像をビューエリアで表示する際に、どこに保存されたものを使用するかを選択できます。パソコン上にあるフォルダーを選ぶフォルダーや、任意の画像のみをまとめられるお気に入り、アルバムなどがあります(→P.28)。

6 下部ツールバー

同時記録画像のまとめ表示、フォーカスポイントの表示、グリッドの表示などの、作業時に役立つ補助的な表示を設定します。このほかにも★マークによるレーティングや、ラベルを使った振り分け、画像のプロテクト機能などが備わっています(→P.36)。

5 調整／情報パレット

画像の調整や、画像の情報の確認ができます。画像の明るさをグラフにして表したヒストグラム、画像の調整に関する機能が集まった調整タブ、画像を撮影した日時やカメラの設定を確認する情報タブ、画像の著作権や説明などといったメタデータを記録するXMP/IPTCタブで構成されています。

メニューバーの項目

画面上部、メニューバーにある表示をすべて解説します。それぞれのメニューの特徴を抑えて、操作をより快適にいきましょう。



● NX Studio（macのみ）

- ▶ **NX Studioについて**
現在のソフトウェアのバージョンを確認します。
- ▶ **環境設定**
NX Studioの各種環境設定を変更します。
- ▶ **NX Studioを終了**
NX Studioを終了します。

NX Studio について		
環境設定...		⌘ ,
サービス		▶
NX Studio を隠す		⌘ H
ほかを隠す		⇧ ⌘ H
すべてを表示		
NX Studio を終了		⌘ Q

1 ファイル

- ▶ **画像を取り込む**
選択するとNikon Transfer 2が起動し、任意の画像をNX Studio上で確認することができます。
- ▶ **Camera Control Proでリモート撮影**
(Camera Control Pro 2 がインストールされている場合のみ表示)
Camera Control Pro 2を起動します。
- ▶ **NX Tetherでリモート撮影**
(NX Tether がインストールされている場合のみ表示)
NX Tetherを起動します。

画像を取り込む...	
転送画像に調整を適用	
動画を編集...	
他のアプリケーションを使用してファイルを開く...	▶
名前変更	⇧ ⌘ R
保存	⌘ S
別名で保存...	⇧ ⌘ S
書き出す...	⌘ E
アップロード...	
取り出す	
ページ設定...	⇧ ⌘ P
印刷...	⌘ P

- ▶ **撮影した画像を直ちに表示**
(対象のアプリケーションがインストールされている場合のみ表示)
オンにすると、ほかのアプリケーションを使用して画像をパソコンに転送した場合に、カメラから画像が転送されるたびに自動的にNX Studioで表示します(対象のアプリケーション側での設定が必要です)。
- ▶ **転送画像に調整を適用**
選択すると、調整タブで行なった調整内容が、同じフォルダ内の新規画像にも適用されるようになります。
- ▶ **動画を編集**
動画編集モードに移行します(→P.156)。
- ▶ **名前変更**
選択中の画像のファイル名を変更します。
- ▶ **保存**
選択中の画像の編集内容を上書き保存します。
- ▶ **別名で保存**
選択中の画像の編集内容を別名で保存します。

- ▶ **Picture Control Utility 2を起動**
(Picture Control Utility 2がインストールされている場合のみ表示)
Picture Control Utility 2を起動します。
- ▶ **ほかのアプリケーションを使用してファイルを開く**
お使いのパソコンにインストールされているほかの画像編集ソフトを開きます。

- ▶ **書き出す**
選択中の画像を任意のファイル形式に変換して書き出します。
- ▶ **アップロード**
任意の画像または動画を、NIKON IMAGE SPACEかYouTubeへアップロードします(→P.176)。
- ▶ **取り出す**
ディスクが挿入されている場合、取り出し可能な状態にします。
- ▶ **ページ設定**
プリンターの設定画面を開きます。
- ▶ **印刷**
選択した画像を直接印刷します。
- ▶ **終了 (Windowsのみ)**
NX Studioを終了します。

2 編集

- ▶ **取り消す (macOS) / 元に戻す (Windows)**
編集内容を1つ前の状態に戻します。
- ▶ **やり直す**
元に戻すで戻された編集内容を再び適用します。
- ▶ **カット (macOS) / 切り取り (Windows)**
選択している画像を切り取り(カット)します。
- ▶ **コピー**
任意の要素(画像、フォルダー、テキストなど)をコピーします。
- ▶ **ペースト (macOS) / 貼り付け (Windows)**
コピーでコピーした内容を貼り付けします。

- ▶ **削除**
選択している画像またはフォルダーを削除します。
- ▶ **すべて選択**
画像またはフォルダーをすべて選択します。
- ▶ **選択解除**
選択している画像またはフォルダーの選択状態を解除します。
- ▶ **選択状態を反転**
選択・非選択状態を反転させます。

- ▶ **ファイルの種類で選択**
任意のファイル形式でファイルを選択します。
- ▶ **レーティングで選択**
設定したレーティングによってファイルを選択します(→P.38)。

取り消す	⌘ Z
やり直す	⌘ Y
カット	⌘ X
コピー	⌘ C
ペースト	⌘ V
削除	⌘ ⌫
すべて選択	⌘ A
選択解除	
選択状態を反転	⌘ I
ファイルの種類で選択	▶
レーティングで選択	▶
ラベルで選択	▶

- ▶ **ラベルで選択**
設定したラベルによってファイルを選択します(→P.38)。
- ▶ **環境設定 (Windowsのみ)**
NX Studioの各種環境設定を変更します。

クイックシャープ

画像のシャープネスを調整する

クイックシャープは、輪郭強調、ミドルレンジシャープ、明瞭度をそれぞれ個別に設定しなくても、手軽にシャープネスを調整できる機能です。プラス側にするほどシャープでくっきりと表現され、マイナス側にするほどふんわりとやわらかな印象になります。なお、自動にチェックを入れると、上記の3つの項目を自動で調整してくれます。



-2



元画像



+2

プラスでくっきり・マイナスでふんわり

クイックシャープはプラス側にするほどシャープでくっきりと表現されるので、自然風景や街スナップなどの画角全体をはっきり見せたいシーンにはおすすめです。

またSNSなどネット上にアップしたい人はプラスにすると、画像がくっきり見えて見栄えがよくなるのですが、シャープネスを上げすぎると目がチカチカしたり、解像度が上がりすぎてざらついたりするので注意が必要です。またプリントしたい人は上げすぎないほうがきれいに描写されます。

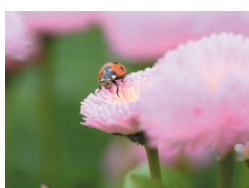
マイナス側にするとやわらかな印象になるので、女性や子どもの人物ポートレートや花、ペットな

どをふんわり見せたいときにおすすめです。

下の左の作例は金属をくっきり見せたかったのでプラスに調整し、右の作例は手前の花の前ボケを活かしたかったのでマイナスに調整してふんわりとした表現にしました。この項目は、古いカメラで撮影した画像には表示されません。調整する場合はカラープロセスで、最新のピクチャーコントロールを選ぶ必要があります。



+2

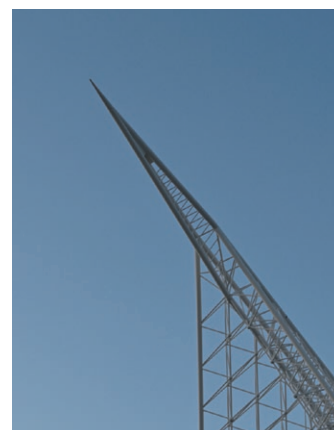


-2

輪郭強調

細い輪郭部分のシャープネスを調整できる

輪郭強調は細い線のオブジェ、猫の毛並みや鳥の羽など、被写体の細かい輪郭部分を、くっきりと強調してくれる機能です。プラス側にすると線の部分がシャープになりますが、プラスにしすぎると解像度が上がりすぎてざらついたような画像になります。またマイナスにしすぎると全体がピンボケのようなイメージになるので注意が必要です。



-3



元画像



+9

細かな輪郭をくっきりと強調

輪郭強調は、作例のようにプラスに設定することでオブジェの細かな線をくっきりと表現してくれます。ほかにも猫の毛並みや鳥の羽などの細い部分をシャープにしてくれます。ただしプラスに上げすぎると、プリントした際にその部分だけが強調されてしまい、違和感のある作品になってしまうこともあります。一番見せたい部分の輪郭部分を拡大して確認しながら調整し、上げすぎないように注意しましょう。

逆にマイナスに設定すると、輪郭部分がふんわりしてくるので、ピンボケしたような状態になります。この効果を利用して、人物ポートレートなど

で輪郭をあえてふわっとした表現にしたい場合に使用するのもおすすめです。

輪郭強調の注意点

輪郭強調は-3から+9の範囲で設定できます。ただし、ピクチャーコントロールをオートで撮影した場合は、±2の範囲までしか調整できません。あとから調整することを考えた場合、オートは避けて撮影しておいたほうがよいでしょう。

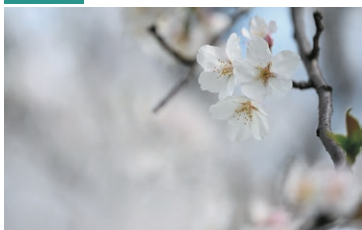
また古いカメラで撮影した画像など、輪郭強調を選択できない場合があります。その際は、P.56で紹介したカラープロセスを最新のピクチャーコントロールに設定すれば、調整が可能になります。

桜の色をイメージ通りに表現する

ポートレート・色味・彩度でやわらかいピンク色の桜にする

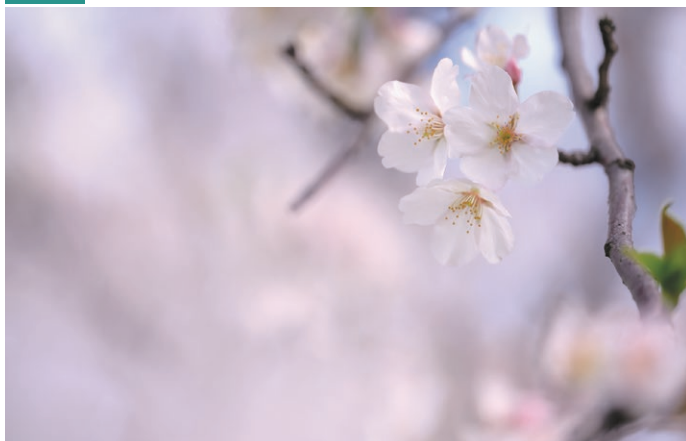
桜のように淡く白に近い色の花は、天気の良い日に撮影すると、くすんだ白色になってしまうことがあります。また「桜はピンク色」だというイメージとは違うと覚えることもあるでしょう。ほんのリピンクになったイメージ通りの桜色に表現するには色味をマゼンダ寄りに調整し、彩度を上げていきます。

before



元画像では桜の花が白っぽく寒々しさを感じますが、色味を調整することでイメージ通りの桜の色を表現できました。

after



Step 1

花の質感をやわらかく表現するために、ピクチャーコントロールのポートレートを選びます。ここでもっとふんわりしたイメージにするには、ピクチャーコントロールの微調整で明瞭度を下げます。

Step 2

桜の色を表現するには、ホワイトバランスの色味でマゼンダを入れていきます。過度に入れると全体がピンクになってしまうので、画面を見ながら調整します。ホワイトバランスの色温度は青かアンバーしか調整できないので、色味を使います。

Step 3

少し鮮やかにしたいときは、明るさと色の調整の中の、色の濃さ（彩度）を上げます。最後に、もう少し明るさをプラスにすると印象がよくなります。

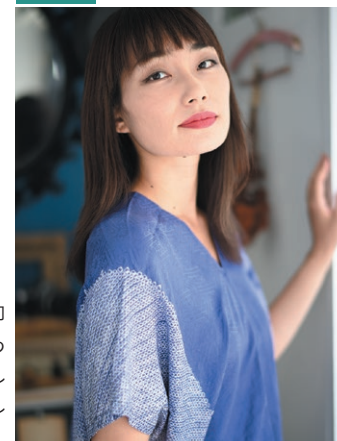


肌をきれいに表現する

明瞭度を下げて全体をやわらかく、カラーコントロールポイントで肌色をクリアに

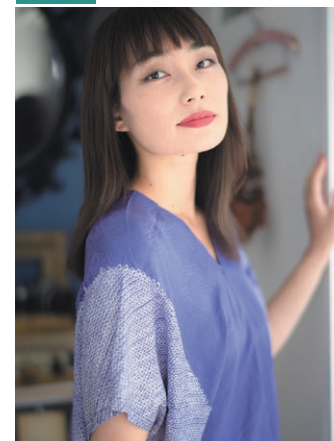
ポートレートは撮影状況によって、硬い雰囲気になってしまったり、肌の色がイメージ通りに表現できなかったりしますよね。そのような場合は、明瞭度を少し下げること、全体をふんわりやわらかくし、カラーコントロールポイントで肌の色をクリアにすることができます。

before



元画像では硬い印象だったので、やわらかくふんわりとした印象に調整しました。

after



Step 1

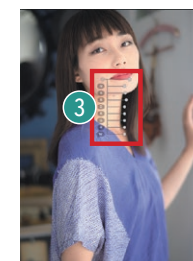
ポートレートで肌をきれいに、全体の雰囲気をやわらかく表現するためにピクチャーコントロールのポートレートを選びます。ポートレートは彩度が極端に上がることがないので、全体をやわらかい印象にしてくれます。

Step 2

輪郭をゆるやかにし、優しい雰囲気を表現するために、ピクチャーコントロールの微調整の明瞭度を少し下げます。

Step 3

肌を鮮やかにするために、カラーコントロールポイントを女性の肌の色の部分に合わせ、明るさと彩度を調整します。肌の色を明るくするために明るさを、血色よく見えるように彩度を、それぞれ少しプラスにします。

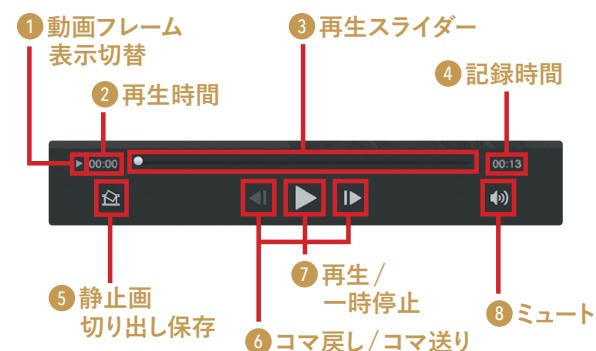


基本の操作

NX Studioではニコン製デジタルカメラで撮影した動画を再生だけでなく、編集することも可能です。そのほかのメーカーで撮影された動画には対応していないので注意してください。基本的な画面構成は静止画編集と変わりませんが、一部動画編集画面特有のモジュールがあるため、こちらで確認していきましょう。

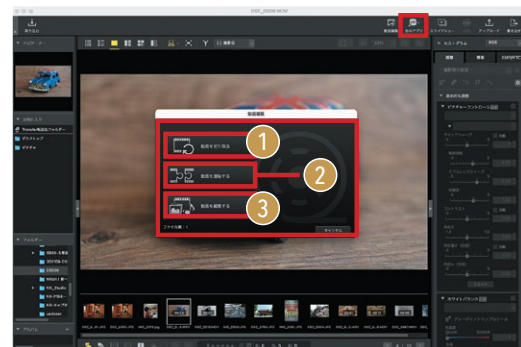
動画を再生する

再生したい動画を選んでイメージビューアー表示にし、動画にマウスカーソルを合わせると、動画再生コントローラーが表示されます。



Movie Editorを起動する

ツールバーの動画編集をクリックすると、Movie Editorが自動的に起動します。Movie Editorは動画編集用のソフトウェアで、カメラで撮影した動画を変換・連結して動画を作成できます。



1 動画を切り取る

任意の動画の必要な部分だけを切り取り、コンパクトにわかりやすくすることができます。切り取った動画は新規データとして保存されます(→P.157)。

2 動画を連結する

複数の動画をつなぎ合わせて、新たに1つの動画として生成します。ただし、使用する動画は同一機種のカメラで、同じ設定で撮影したもののみが対応可能です(→P.157)。

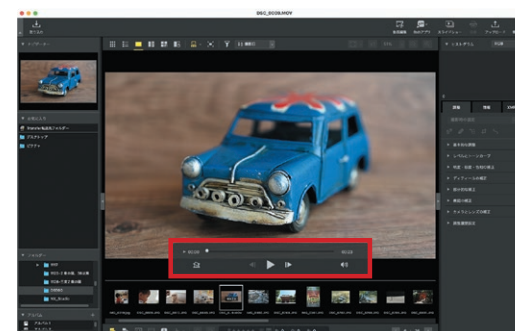
3 動画を編集する

静止画や動画を組み合わせて、オリジナルの動画を生成します。さまざまなエフェクトに加え、文字情報やBGMの追加も行うことが可能です。(→P.166)

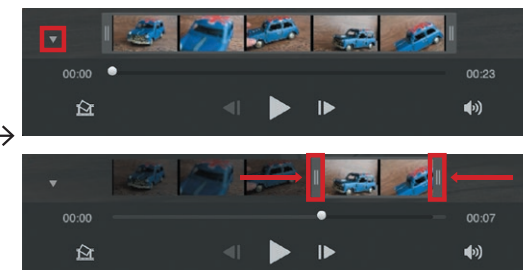
動画の切り取り・連結

Movie Editorを使用すれば、撮影した動画の必要な部分だけを切り出したり、複数の動画を連結したりすることができます。ただし、編集して新しく保存した動画は動画の連結には使用できないので、元の動画は消さずに残しておいたほうがよいでしょう。

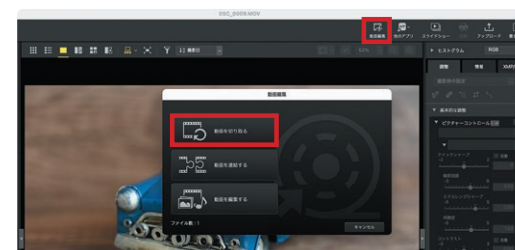
動画を切り取る



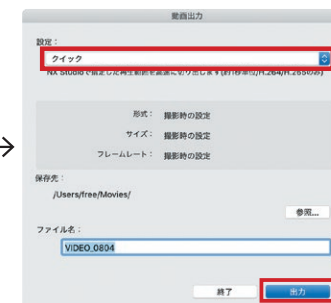
切り取りを行いたい動画をイメージビューアー表示にして、カーソルを動画の上に持っていくと動画再生コントローラーが表示されます。



動画フレーム表示切替ボタンをクリックすると、コマがサムネイルで表示されます。左右のハンドルを操作し、切り取りたい部分を指定します。

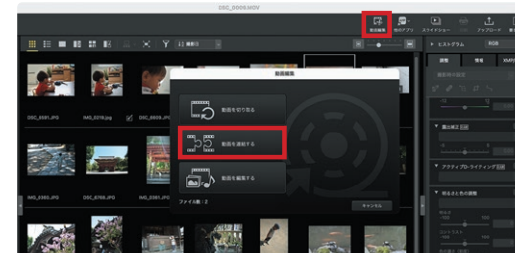


ツールバーの動画編集をクリックして動画編集のメニューが立ち上がったら動画を切り取るを選択します。



動画出力ダイアログが表示され、クイックか詳細設定から動画の処理方法を選択します。出力をクリックすると、編集した動画が保存されます。

動画を連結する



連結したい動画を複数選択します。最大で20本まで連結が可能ですが、Movie Editorで生成した動画を連結することはできません。



ツールバーの動画編集をクリックし動画を連結するを選択します。出力ダイアログが表示されるので各種設定を行い、出力をクリックすると、編集した動画が保存されます。

環境設定

環境設定を調整することで、NX Studioの各種項目の表示や内容をカスタマイズすることができます。自分の好みや使い方に合わせたカスタマイズをすることで、より一層 NX Studioを快適に使えるようになります。

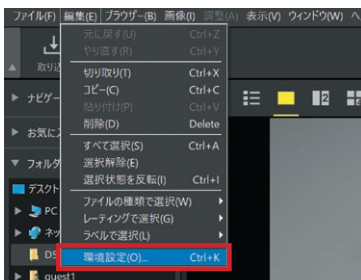
環境設定の仕方

環境設定の設定の変更は使用しているパソコンによって選択画面が異なります。環境設定を選択すると、調整可能な項目が表示されます。クリック

するとそれぞれの項目に合わせたカスタマイズ項目が表示されるので、任意の設定に変更します。



macOS
画面上部にあるメニューのNX Studioから環境設定を選択します。



Windows
メニューの編集から環境設定を選択します。

環境設定で設定できる項目の一覧

環境設定で設定できる項目は数が多いため、あらかじめ15の大きい項目に分かれています。その項目を選択すると詳細設定が行えるようになります。ここからは環境設定の項目を一覧で紹介します。



一般

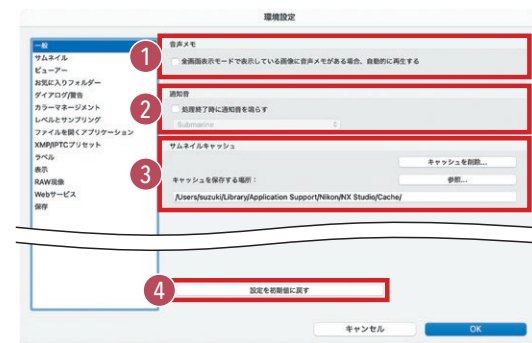
NX Studioの動作に関する各種設定を行います。画像の閲覧・調整に直接関わるような項目ではありません。

① 音声メモ

全画面表示モードで表示している画像に音声メモがある場合、自動的に再生するにチェックが入っていると、音声メモ付き画像を全画面表示にした場合、音声メモを自動的に再生します。

② 通知音

処理終了時に通知音を鳴らすにチェックが入っていると、処理が完了した際に通知音が鳴ります。



③ サムネイルキャッシュ

画像のキャッシュの設定を行います。

- ▶ **キャッシュを削除**
表示に使用した画像のキャッシュを削除します。
- ▶ **キャッシュを保存する場所**
キャッシュの保存先を変更できます。
- ▶ **参照**
ダイアログから変更場所を指定できます。

④ 設定を初期値に戻す

一般で設定した項目をすべて初期値に戻します。

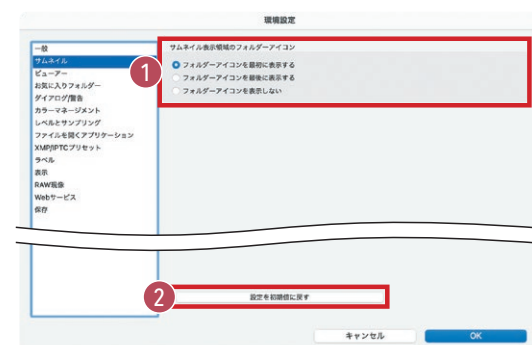
サムネイル

サムネイル表示の設定ができます。

① サムネイル表示領域のフォルダーアイコン

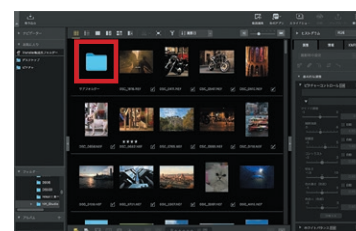
サムネイル一覧表示、サムネイル詳細表示、フィルムストリップのいずれかの表示方法を選択している場合に、サブフォルダーの表示順を変更することができます。

- ▶ **フォルダーアイコンを最初に表示する**
サブフォルダーがサムネイル画像の先頭にまとめて表示されます。
- ▶ **フォルダーアイコンを最後に表示する**
サブフォルダーがサムネイル画像の末尾にまとめて表示されます。
- ▶ **フォルダーアイコンを表示しない**
サブフォルダーが表示されず、サムネイル画像のみ表示されるようになります。

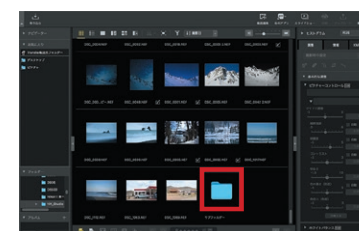


② 設定を初期値に戻す

サムネイルで設定した項目をすべて初期値に戻します。



フォルダーアイコンを最初に表示するにした場合



フォルダーアイコンを最後に表示するにした場合